第1868回報告　沼津アルプス　(392 m)

実施日　４月２日（日）晴　　係・小澤勝太郎　　記録・柴田幸子

報　告

３月11日の大震災後、ＪＲのダイヤが乱れているため30分ほど遅れて歩き出す。沼津市の東部に、南北に小さな山並みが連なる。低山で６山７峠、香貫山（194 m）、横山、（182 m）、徳倉山（256 m）、志下山（214 m）、鷲頭山（392 m）、大平山（356 m）、７峠とは八重坂、横山、志下坂、馬込、志下、多比、多比口の各峠である。アップダウンを繰り返すが、６山全部合わせても1600 mに満たない。

駅から歩いて黒瀬登山口まで15分、五重の塔がある香陵台へ20分。
展望台からは富士山、愛鷹山、伊豆の山々、箱根連山と沼津市が春霞の中望まれる。横山へは急登のロープあり、徳倉山へは思ったより急峻だ。頂上は草原状で、富士と沼津の海岸線が美しい曲線をなす。

コースの最高地点は鷲頭山で、360度の展望を楽しむ。多比口峠から希望者のみ大平山を往復。多比のバス停へ順調に下る。皆様、ありがとうございました。

コースタイム

沼津駅9:20---黒瀬---香陵台---香貫山10:25---八重坂峠---横山---横山峠---徳倉山12:15---志下山---馬込峠---志下峠---小鷲頭山---鷲頭山---多比峠---多比口峠15:30---大平山15:45---多比口峠---多比バス停16:15

参加者　18名

第1871回報告　大山（下社）～聖峰～弘法山

実施日　４月５日（日）晴　　係・記録　谷　眞理子

報　告

朝の寒さとは裏腹に集合の頃には陽気が上がり、バス下車したとたん皆、薄着になってしまった。ケーブル使用で下社へ行き、その後、山腹を巻き蓑毛越に出るとアブラチャンがつぼみを付け咲く時期を待っていた。広い尾根を下り始めると、富士山の秀

麗な姿が目に入る。誰かが筋肉ほぐしの下り山行とか言っていたが、結構、上り下りもきつい地形である。林道へ抜け高取山への尾根道へ入る。お腹がすいたと感じる頃におなじみの高取山へ着く。ランチ後は当初予定の聖峰分岐を左に見送り、南下し念仏山～善波峠～弘法山を目指す。弘法山よりは桜の花が程よい具合で開花している。皆大喜び！　権現山より秦野駅へ抜け解散とした。

コースタイム

伊勢原駅 9:00→ケーブル駅 9:40～下社 10:20---蓑毛越 11:05---不動越 11:35---高取山 12:15～13:00---聖峰分岐 13:08---念仏山 13:45/13:55---弘法山 14:45/14:55---権現山 ---秦野駅 16:30

参加者　８名

第 1872 回報告　　甲州高尾山　（1092m）

実施日　４月１２日（火）晴　　係・記録　**竹尾亮三**

報　告

登りを長くしての逆コースに変更してスタート。満開の桜、ピンクに染まる南アルプスの雪山を眺めながら登る。柏尾山を過ぎると富士山が現れる。三角点のある剣ケ峰を経て甲州高尾山に到着。久々に富士山を見ながら、防寒着を着ないで昼食をとる。2009 年 4 月に山火事があった跡と思われる、焦げた木が残る尾根を歩き、展望台を経て、不動大滝のある大滝不動尊に到着。taxi でぶどうの丘に向う。仮解散しワイナリーで色々なワインを試飲し、テラスから再びピンクの桃源郷と桜並木を見下ろした後、線路沿いの見事な桜並木道を歩き駅に到着。期待した全てに出会い、春爛漫を楽しんだ山行でした。

コースタイム

勝沼ブドウ郷駅 taxi 8:55＝大善寺 9:00/9:10---柏尾山 10:35/10:45---甲州高尾山 11:25/12:25 ---展望台 13:05/13:15---大滝不動尊 13:40/13:55 taxi＝ぶどうの丘 14:15/15:15---

勝沼ぶどう郷駅 15:35/15:38

参加者　８名

第 1873 回報告　（第 56 回本部集中）昭和の森・太陽の広場

実施日　4 月 10 日（日）　曇りのち晴れ　　**係・記録**　芹沢隆久

報　告

水神神社、雷電神社、秀久寺と街中をウォーキング。一本松から小中川沿いの道を進むと小中池に付く。ここで大休止、桜（ソメイヨシノ）が公園と池畔を飾り、今が見頃であった。小中池から一登りで昭和の森だった。展望台からは九十九里浜が見えるという。あの浜にも津波が押し寄せたのかと思う。ここから太陽の広場に続く公園は羨ましいほどの広さ。ここも桜は満開。グループや家族連れで賑やかだ。

年に一度の新ハイの祭典は、東日本大震災で被災した１万数千を越える犠牲者を悼み、１分間の黙祷から始まった。参加者から義援金を募り被災地の復興の一助とした。横浜支部は支部の１番バッターで紹介されることになり、賛否両論ある中でこの本部集中を実施した千葉支部と新ハイ本部の鮫島会長の労をねぎらい、今年が支部創立 55 周年にあたることを発表し、最後に支部参加者全員で「頑張ろう　ニッポン、頑張ろう 新ハイ」とエールを送った。本部集中参加者は約 300 名だった。

コースタイム

大網駅 9：30---水神神社 9：35---10：00 東栄寺 10：05---一本松 10：22---11：00 小中池 11：30---12：00 太陽の広場 15：00---15：30 土気駅（解散）

参加者　13 名

第 1874 回報告　奈良倉山(1349m)～坪山(1103m)

実施日　4 月 17 日（日）　快晴　　**係・記録**　竹尾亮三

報　告

三頭山を横眼に登っていく。山頂に近づくと、カタクリの花が点在し、奈良倉着。富士山が春霞の中に姿を見せている。林道を経て佐野峠に到着。

陽だまりの中で昼食。再び林道を下り、坪山へ向かう、崩れかけている斜面を登る。ピークを数ケ所経て、最後の登りにかかるとやっとヒカゲツツジの蕾が両側に現れてくる。誰もいない山頂に到着。ヒカゲツツジがわずかに咲いてる。

ロープのある急坂を慎重に下る。蕾から次第に開花しているヒカゲツツジの花が多くなり、ついに満開の薄黄のヒカゲツツジ群が両側に一斉に出迎えてくれる。

ミツバツツジも色を添える。さらに薄ピンクのイワウチワの群生もお出迎え。

期待したヒカゲツツジとイワウチワに会えた事に満足できた山行でした。

コースタイム

上野原駅バス 8:28＝鶴峠 9:35～45---奈良倉山 11:20～30---佐野峠 12:05～55---
坪山 15:00～15---御岳神社バス停 16:45～56＝上野原駅 17:54～57=八王子

参加者　支部 17 名

第 1875 回報告　　渋沢ウォーキング

実施日　4 月 20 日（日）　晴れのち曇り　　**係・記録　　谷　眞理子**

報　告

駅を出て、住宅地の中を歩くと、民家の庭には春の花がきれいに咲き、こちら側

のメンバー達も負けじと世間話に花を咲かせ、川原へと向かう。四十八瀬川の土手には桃の花、八重桜、更に野蒜を見つける。早速ビニール袋を広げ、酒のおつまみにするらしく見る間に重たそうな量に増えていく。聞こえてくるのは川の流れる音と、

小鳥達のさえずりのみで何とものどかな散歩コースである。再び民家を抜けると秦野戸川公園にポンと出る。昼食後は水無川の遊歩道を渋沢へ向かう。

途中、桜土手古墳資料館へ入り、古墳に関する映画を約35分見ることができ、しばし白河夜船の人々もおり、終了後は元気な足取りで渋沢駅へ向かい駅にて解散とした。

コースタイム

渋沢駅---西公民館---四十八瀬川---甘柿橋---才戸橋---堀西地区---戸川地区---秦野戸川公園---水無川---桜土手古墳---渋沢駅

参加者　7名

第1876回報告　本社ケ丸

実施日　4月24日（日）　**晴れ**　　**係・小澤勝太郎**　　**記録・**佐々木静子

報　告

雨天で順延になった当日は穏やか晴天の下、支部山行に初参加というお二人を加えて笹子駅を出発。きつい登りでは満開のミツバツツジに癒され、尾根筋では雪煙たなびく大きな富士山をながめ、山頂では360度の展望で山座同定に花が咲きました。駅までの林道歩きは私には辛かったけど、快適な山行でした。

三つ峠・富士山（本社ケ丸から）

コースタイム

笹子駅 8:40---稜線 10:50---角研山 11:15---鉄塔 11:35～12:10---本社ケ丸 13:05～13:20---清八峠 13:50---笹子駅 16:10

参加者　１１名

第 1821 回報告 石丸峠～牛ノ寝～棚倉 (大菩薩～高尾縦走その 2)

実施日　4 月 29 日（金・祝）　**快晴**　　係・和智邦久　　記録　渡部道明

報　告　塩山駅 9:00 集合タクシーにて小屋平へ。天候快晴凛とした空気に包まれ急坂を登りだす、右手下方に小さく紺碧の大菩薩湖を眺めながら間もなく今日の最高点石丸峠（1957m）この間休息一度快調の歩程。棰の尾山　陽だまりで鶯の幼い鳴き声を聞きながらの昼食最高の贅沢か！

なだらかな「牛の寝」の峰道を辿りながら未だ芽生えの無い木立を透し左右の山々　同定出来ない情けなさを感じる遠望が有った。棚倉を過ぎて木々の芽ぶきもあり「いわうちわ？」の可憐な姿も見受けられた。モロクボ平であと一息と全員元気に無事小菅の湯バス停迄予定より早くに下山　春の遅いぬくもりの山道を楽しんだ一日でした。有難う！

コースタイム

塩山駅 9:00＝タクシー＝9:30 小屋平 9:4----石丸峠 10:50----12:00 棰の尾 12:35----ショナメ 13:35----棚倉 14:00----14:50 ﾓﾛｸﾎﾞ平 15:00----15:45 登山口----15:53 小菅の湯バス停 16:30＝バス＝17:50 上野原駅

参加者　16 名

第1852回報告　　街道を歩く（中山道　その18）

実施日　4月26日（火）～28日（木）　**快晴**　　係　芹澤隆久　　記録　茂木武

報　告　震災で中断の中山道は久々の再開。無人の美江寺駅を出発。
先ず美江寺跡地の神社、観音堂へ。道は左折、鷺田橋で揖斐川を渡る。和宮記念の古簾紅園に寄る。秋葉神社で昼食。赤坂宿では赤坂港跡、本陣跡、兜塚、照手姫水汲井戸を見る。相川を渡ると河川敷に鯉のぼりが見事。
垂井宿へ。大ケヤキ、垂井の泉、垂井の一里塚は目を引いた。関ヶ原宿へ。
左方に家康最初陣地の旗を見る。歴史ある桝屋旅館に着く。（歩行距離19.3KM）

27日朝宿を出発。東首塚、家康最後陣地、合戦開戦の地等を見て廻る。

不破関所も過ぎ、山中の道となる。鶯の滝や、源義経の母＝常盤御前の墓を見る。今須峠、今須一里塚と過ぎ、岐阜・滋賀の県境を越える。

寝物語の里へ。楓並木が続き柏原宿に入る。柏原本陣跡、伊吹堂亀屋と見て、

公園風な茶屋御殿跡で昼食。柏原一里塚跡、松並木と過ぎ一色の一里塚跡を過ぎ醒井宿へ。居醒の清水、十王水と街中を川が流れ、水が奇麗だ。

久礼の一里塚は実物の塚で立派。間もなく番場宿へ。タクシーで米原の宿へ向かう。（歩行距離　17.6KM）

28日朝タクシーで番場宿へ。蓮花寺には北条仲時一行の墓地。舗装道路を上り摺鉢峠へ着く。下り途中から樹林の山道と変わり、山屋の気分を満喫。鳥居本宿で赤玉神教丸の本舗に寄る。合羽屋の看板が目につく。小町塚を過ぎると新幹線の下を潜る。高宮宿に入る。途中のスーパーで弁当を買い昼食。高宮宿では多賀大鳥居、本陣跡の門、円照寺と過ぎる。道々には松並木が点在する。

公園風な伊藤忠兵衛旧邸跡で休憩。予定の豊郷駅を変更、愛知川駅に着いた。

最後に雨に降られたが楽しい３日間を終える。　（歩行距離　18.7KM）

コースタイム

4/26 美江寺宿9:30-35---小簾紅園（和宮）10:47-11:00---秋葉神社11:40-12:05---聖観音12:15---赤坂宿12:58-13:10---照手姫水汲井戸14:09-12---垂井宿 15:23---本陣跡15:30---垂井一里塚15:56---関ヶ原17:00（泊）

4/27 宿 8:00---家康最後陣地 8:17---関ヶ原合戦の地 8:20---不破関所跡 9:07---鶯の滝 9:26---常盤御前の墓 9:30-40---今須峠 9:55---寝物語の里 10:30---柏原宿本陣跡 11:28---昼食 11:45-12:10---一色一里塚 13:25---居醒清水 13:40---久礼一里塚跡 14:40---番場宿 14:55（泊）

4/28 番場宿 8:32---蓮花寺 8:40-45---摺鉢峠 9:45---鳥居本宿 10:20---小町塚 11:10-1---スーパー昼食 11:42-12:10---高宮宿 12:55---円照寺 13:20---松並木---伊藤忠兵衛旧邸跡 14:35-40---愛知川駅 15:32

参加者　７名

第 1870 回報告　相模の湧水と大凧まつり

実施日　５月６日（水）　晴　　係　祖父川清治　　記録　茂木武

報　告　相模の湧水めぐり、先ず坂東札所八番星谷寺。ここは真言宗の古刹。梵鐘、星の井戸、水琴窟等を見る。次の鈴鹿明神社の池へ湧水が注いでいる。

社の右手から、鈴鹿の小道と呼ぶ湧水をめぐるコースへ。
心地よい湧水の流れに沿って進む。
次は龍源院の湧水へ。中の弁財天にも参拝。街道横には閻魔堂。その先には日蓮聖人縁りの「番神水の湧水池」に着く。河岸段丘の崩れた斜面に水源地を見る。大凧まつり　座間公園で昼食。座間神社から相模川河原へ向かう。
座間大凧会場に着く。
今年揚げる大凧の文字は「盛栄」縦 13m 横 13m で 108 畳の大きさ。大凧の製作に２ヶ月を要するという。最初は失敗し破損部を修理。２度目に 50m 揚がり、会場を埋めた人々かの歓声と拍手が湧き、成功だった。会場から無料バスで座間駅へ。
駅前で解散する。

コースタイム

座間駅 10:40----星谷寺観音 10:48-11:05----鈴鹿明神社 11:18----龍源院弁財天 11:20-32----鈴鹿の泉 11:37----閻魔堂 11:38----番神水の湧水池 11:45-12:05----座間公園（昼食）12:15-50----座間神社 12:55----相模川土手 13:20-30----凧上げ会場 13:40-15:10==座間駅 15:45（解散）

参加者　８名

第 1880 回報告 石鶴峠～三頭山～槇寄山 (大菩薩～高尾縦走その 4)

実施日　５月８日（日）　晴　　係・記録　和智邦久

報　告　鶴峠からのいきなりの登りだが昨日の雨のせいかブナの新緑が鮮やかに映えている。三頭山頂上には多くの登山客だが、周りの山々の展望はよい。
越ヶ谷支部の一行とお会いした。大沢山から槇寄山の木々はまだ新芽が出ている程度。尾根道は下りが続く。槇寄山から誰も歩いていないような落ち葉の絨毯の道を郷原に下る。快適な山行でした。

大菩薩から高尾山（その４）無事終了。次回はその５とだんだん高尾山に近づく。

コースタイム

上野原駅 8:28＝ﾊﾞｽ＝9:40 鶴峠---11:47 神楽入ノ峰---12:35 三頭山 13:23---大

沢山 13:58---

15:14 槇寄山 15:30---16:32 郷原バス停 17:00--17:50 上野原駅

参加者　16 名

第 1884 回報告　鷹取山～南平橋　ウォーキング

実施日　5 月 19 日（木）　晴れ　　**係・記録**　谷　眞理子

報　告　当日は集合時間にずれが生じたが、手始めに大磯町に寄贈された旧島崎藤村邸（静の草屋）を訪ねる。ガイドの説明を受け暫し聞き入る。

日差しが強いなかを馬場地区に向かう。里山の神揃い山へ入り、５月５日神輿が集まり祭事を行う石柱６本を見付ける。快適な尾根道からミニ藪に入り、早々に抜け出す。東の池から鷹取山を目指す。尾根道より約 300 段の階段を登り詰めるが、さすが横浜支部の面々達！　元気よく頂上へ辿り着く。

昼食後はＳ氏のハーモニカ演奏を楽しみ、その後は足任せの下り道となり、妙円寺から土屋城址へと順調に歩を進め、南平橋に出てバスを利用し秦野駅にて解散。

コースタイム

大磯駅 9:30----旧島崎藤村邸----城山トンネル-----馬場公園-----神揃い山----東の池-----

鷹取山----妙円寺-----土屋城址-----大乗寺-----南平橋＝＝秦野駅 15:35

参加者　12 名

第 1883 回報告　伊豆ケ岳

実施日　5 月 14 日（土）　晴れ　　**係・記録**　竹尾亮三

報　告　ツツジ、オダマキなど花が咲き乱れる集落の道を快適に登ってゆく。

山々の広葉樹の新緑のまだら模様が清々しい。伊豆ケ岳への最後の登りは女坂へ、さらに迂回路の表示に従って登り山頂に到着する。たくさんの登山者

が昼食中であった。若い登山者が多いのには驚く。下山の途中で何組もの若い男女に抜かれる。山で若い人に会えるのは嬉しいものだ。下山の尾根道ではツツジも見られ、なだらかな歩きやすい道、急坂など10か所近くのピークを上り下りし足腰の神様、子ノ権現に到着する。鉄の大きな金色のわらじが飾ってある。遊歩道沿いにシャガの花が一杯に続く道を歩き吾野駅に到着。長い縦走路を味わった山行でした。

コースタイム

正丸駅 9:10～25---正丸峠 10:25---小高山 10:55～11:05---伊豆ケ岳 11:35～12:25---古御岳 13:05～10
---高畑山 13:40～50---天目指峠 14:50～15:00---子ノ権現 16:05～20---不動の滝 17:00---
吾野駅 17:50～58=池袋

参加者　14名

第1864回報告　街道を歩く　（中山道　その１９）

実施日　5月21日（土）～23日（月）　　**係**　芹沢隆久　　**記録**　茂木武

報　告　21日参加者８名、愛知川駅を出発。中山道へ出て御幸橋を渡る。

五個荘では近江商人の街並みが造られていた。近江商人屋敷を３軒ほど見て廻。

滝田神社で昼食。中山道へ。

老蘇の森に奥石神社を訪ね、秀吉ゆかりの東光寺にも寄り、武佐宿の宿に着。
22日、武佐宿本陣跡を過ぎ、住蓮坊首洗池を見る。途中大雨に遇する。

日野川を渡り、鏡神社、源義経元服池、平宗盛終焉の地を訪ね、道の駅で昼食。

桜生史跡公園、守山宿本陣、慈眼寺、今宿一里塚、大宝神社を経て草津へ。

23日、草津から中山道は東海道と合流。旧東海道の表示が多い。

本陣跡、野路の一里塚、野路の玉川跡と過ぎ、瀬田の唐橋を渡る。琵琶湖が眼前に広がる。目指した義仲寺は休日で残念。間もなく大津駅に着く。

コースタイム

5/21 愛知川駅 9:55----宝満寺 10:30----御幸橋 10:55----五箇荘 11:35----龍田神社

11:55～12:20----近江商人屋敷 12:37～13:43----奥石神社 15:10～30----東光寺 15:50----武佐宿 17:00

5/22 宿 8:00----本陣跡 8:08----住蓮坊首洗池 8:47----日野川 9:40----鏡神社 10:30～40----義経元服池 10:45（休憩昼食）11:30～平家終焉地 11:40----連照寺 13:45----野洲川 14:05----守山宿 14:38----一里塚 15:00----大宝神社 15:22----草津宿 16:30

5/23 宿 7:55----本陣跡 8:22----野路一里塚 8:52----野路玉川跡 9:15----瀬田唐橋 10:52----義仲寺 13:00----大津駅 13:45

参加者 8名

第1888回報告 槇寄山（1181 m）～笛吹峠～浅間峠（縦走その５）

実施日 6月4日（土）晴れ　　**係・記録** 和智邦久

報　告 仲の平から登る。小さな観音堂の前を通り集落の最上段の人家横から登山道に入る。樹林の中を登る。樹林に囲まれた平地に国定忠次物見の道標があった。

自然林に囲まれた気持ちのよい道が続き西原峠、ここからすぐに槇寄山に着く。

頂上から富士山が前方に。緩やかな尾根を進み笛吹峠、丸山、土俵岳、日原峠に、

アップダウンが続き浅間峠に着き上川乗バス停へと下った。

新緑の笹尾根と梅雨の合間の晴天で楽しい山行が行えました。

次回はその６、浅間峠から和田峠です。

コースタイム

武蔵五日市駅 9:00＝ﾊﾞｽ＝10:00 仲の平 10:10---11:40 槇寄山 12:10---13:50 笛吹峠 ---15:00 日原峠---15:50 浅間峠---16:50 上川乗バス停 17:10＝ﾊﾞｽ＝17:55 武蔵五日市駅 18:11

参加者 19名

第1889回報告 尾瀬ヶ原

実施日 6月11日（土）～12日（日）　　**係・記録** 金本　勲

報　告 6月11日　曇時々晴　横浜を出発する時は雨が降っていたが鳩待峠に近づく

に従って雨が止み、所々雲の間から陽光が射してきてラッキー。本命のミズバショウを見るには最高の時期で上田代、中田代、下田代等の湿原にミズバショウが咲き乱れていた。又リュウキンカの黄色い花がミズバショウの白色とよいコントラストで見事です。その他ヒメシャクナゲ・ミツガシワ・タテヤマリンドウ・ワタスゲ・ショウジョウバカマ、イワカガミの花が咲いていて登山者を楽しませてくれた。

6月12日　曇時々晴　本日のメーンは平滑ノ滝・三条ノ滝である。岩盤上を滑るように落ちる平滑ノ滝、高さ90ｍを落下する三条ノ滝は先日の梅雨のため水量が多くて圧倒された。2日目も兎田代・天神田代・西田代・姫田代から御池バス停までミズバショウ・リュウキンカその他の花が見られて、花の博覧会の様相でした。至仏山や燧ケ岳はまだ雪を被っており、平ヶ岳もきれいに見えた。

コースタイム

6/11　鳩待峠12:45---山ノ鼻13:50～14:15---牛首15:10～15:20---竜宮十字路16:00
---尾瀬小屋16:25(泊)

6/12　尾瀬小屋6:45---温泉小屋7:10---平滑ノ滝7:30---三条ノ滝8:35～8:50---
裏燧橋10:45---天神田代11:45---西田代11:50～12:15(昼食)---御池バス停13:40

参加者　9名

第1891回報告　甘利山～千頭星山

実施日　6月15日（水）　　**係・記録　竹尾亮三**

報　告　登山口から緩斜面を登り甘利山に到着する。レンゲツツジの大群生が広がるが、5分咲である。ガスがかかり展望もなし。満開のレンゲツツジも随所にある。

千頭星山に向うとヤマツツジやズミの花が、さらに登るとミツバツツジの花が満開である。急登を経て南に進むと広い笹原にカラマツや、ダケカンバの新緑が美しい。カラマツの大木にサルオガセがさがっている。千頭星山で昼食を

済ませ往路を戻る。途中、奥甘利山の山頂へ。再び往路の花々を再度楽しむ。

ツマトリソウ、スズラン、アマドコロなどの清楚な花も見つける。

グリーンロッジのテラスで休憩しタクシーに乗り込む。梅雨の時期に雨に当たらず山道沿いの花と新緑の風景を楽しんだ山行でした。

コースタイム

韮崎駅 taxi 8:45＝広河原登山口 9:25～35---甘利山 10:00～15---千頭星山 12:10～13:00
---奥甘利山 14:05～15---甘利山 14:50～15:10---広河原 15:35～16:20taxi＝
韮崎駅 16:55～17:36

参加者　11 名

第 1892 回報告　　大平山（343m）～晃石山（419m）

実施日　6 月 19 日（日）　うす曇時々晴　　**係・**大川礼子　**記録・竹尾亮三**

報　告　虚空蔵菩薩をお参りしてアジサイ坂の石段を登ってゆく。両側に色とりどりのアジサイが咲いている。全てが満開ではないが十分に楽しめる。

太平神社に着く頃には薄日が差している。山道に入り太平山を経て晃石山に向う。大小のピークを 6 回程上下すると市街地や田園風景が眼下に広がるパラグライダー離陸地に到着する。3 人のパイロットが荷物と一緒にモノレールで上がって来たので、ここで昼食にして、翼を広げ、装備を身に付け、滑空をするのを観察する事にする。パイロットが大空を飛び目的地に着陸するのを見届け晃石山に向う。大中寺への、道路沿いもアジサイ一色である。途中、

採りたての美味しいブルーベリーを味わい駅に到着。アジサイとパラグライダーを特筆する山行でした。

山行係を初めて実施したリーダーに感謝です。

コースタイム

栃木駅 taxi 8:35＝太平神社入り口 8:45～55---太平山神社 9:25～40-太平山
9:50---パラグライダー離陸地 10:45～12:20---晃石山 12:30～40---桜峠 13:25

～13:40---清水寺 14:10～20---大中寺 15:05～30---新大平下駅 16:30～17:12

参加者　12 名

アジサイ

第 1890 回報告　　飛竜の滝～千条の滝へ

実施日　6 月 23 日（木）　曇り・霧　　**係・記録　谷　眞理子**

報　告

梅雨の谷間の曇空の中を５名にて、登山コースを急遽変更して下山予定の小涌谷より入る。千条の滝にて小休止後、ゆっくりと湯坂路へ登り詰める。

浅間山にてランチし、霧が涼しい風を運ぶ。鷹の巣山めざし逆コースへ入る。

霧の中ゆるやかな上りと下りを楽しみ、いつの間にか湯坂路入口へ出る。飛龍の滝への林道は３月の地震の影響でくずれておりロープが張られて立ち入り禁止になっていた。そのためバスを利用して小田原へ抜けて解散とした。

コースタイム

佐久平駅バス 8:40＝高峰温泉 9:50～10:05---水ノ塔山 11:20～11:30---
（途中タイム　昼食）---　東籠ノ登山 13:05～20---池ノ平 14:00～14:20---
湿原一周+三峰ケ峰---池ノ平 16:00～03 バス＝高峰温泉 16:20～17:00＝佐久平駅 18:00

参加者　5名

箱根湯元駅＝＝＝小涌谷駅 10:30---千条の滝 10:50---浅間山 11:40～12:20---
鷹の巣山 12:50---湯坂路入口 13:00＝＝小田原駅 13:55

第 1895 回報告　　水ノ塔山～東篭ノ登山～池ノ平

実施日　7月 16 日（土）　快晴　　**係・記録**　竹尾亮三

報　告　登山口から出発すると直ぐに水ノ塔山から東篭ノ登山までの稜線が現れる。

黄色のニガナ、ハクサンチドリ、テガタチドリなどを楽しみながら登り、水ノ塔山に到着。東篭ノ登山に向うとゴゼンタチバナやハクサンシャクナゲも現れる。

さわやかな風が吹く稜線を歩き、一等三角点のある東篭ノ登山に到着。向かう高層湿原・池ノ平を見下ろす。浅間山も遠望。広大な湿原の木道を歩きながらアヤメ群やハクサンフウロなどを楽しむ。三方ケ峰のコマクサ園で咲き残ったコマクサを眺め、再び人気がない湿原に下る。シャトルバスで高峰温泉に戻り、予定外で、入浴する人、生ビールを飲む人、休憩後バスに乗りこむ。展望、お花、湿原等を十分に楽しんだコースでした。未開花のヤラギランの群生が咲き乱れる時の再訪問を願った。

コースタイム

佐久平駅バス 8:40＝高峰温泉 9:50～10:05---水ノ塔山 11:20～11:30---
（途中タイム　昼食）---　東籠ノ登山 13:05～20---池ノ平 14:00～14:20---
湿原一周+三峰ケ峰---池ノ平 16:00～03 バス＝高峰温泉 16:20～17:00＝佐久平駅 18:00

参加者　9名

東篭ノ登山

東篭ノ登山から池ノ平

三方ケ峰より池ノ平

水ノ塔山

写真は別フォルダにあり

第 1896 回報告　火打山（2462m）～妙高山（2454m）

実施日　7 月 22 日（金）～24 日（日）　　係・記録・竹尾亮三

報　告

22 日　曇

登山届を投函し、緑濃い自然林の木道を登ってゆく。十二曲りの標識が現れ、急登を登ってゆく。初めての薄ピンクの花をＩさんがショウキランと教えてくれる。十二曲りを終えると、ゴゼンタチバナ、クルマユリ、ミツバオーレン、オオバミゾホウズキ、キヌガサソウなどのお花が続く。

分岐の富士見平では富士山は見えず。大事な道標が抜けて直ぐ倒れる。山小屋到着時にその旨を知らせる。ツマトリソウ、コイワカガミ、ハクサンコザクラ、モミジカラマツ、サンカヨウ、マイズルソウも現れる。ヒュッテに近づき陽が射すが火打山は雲の中、北アルプスの展望台に立つだけで高谷池ヒュッテに到着。

23 日　曇時々晴

天狗の庭に向うとハクサンコザクラの群生の中に色々な花が咲いている。地塘の水面に映っている樹木や緑が美しい。イワイチョウ群に混じってヨツバシオガマ、ハクサンチドリ、チングルマ、ミヤマキンポウゲ等が山道沿いに続く。

ライチョウ平に近づくと雪渓が広がり、テガタチドリ、ヤマオダマキ、エゾシオガマも。さらに登るとウサギギクの群生とアオノツガザクラの大群生に驚く。途中、

青空で陽も射したが山頂では展望なし。山頂は若者で一杯。往路を下山する。

高谷池を経由して茶臼山を超えると初めて妙高山が姿を見せてくれる。

黄色のハナニガナが両側に群生する山道を降り、黒沢池ヒュッテに到着。

24 日　晴のち曇、一時ガス

陽を浴びて出発。外輪山の稜線から振返ると火打山が優しく、目の前に妙高山が

大きく立ちはだかる。急斜面に残った雪渓を慎重にトラバースし、長介分岐から雪渓を 25m 登ると、本格的急登である。色々な花、珍しい花に励まされ山頂に到着。

テガタチドリの群生に驚く。北峰を経由して急坂を下り、鎖のある岩場を慎重に

下る。シロバナ二ガナにも出会え、天狗平を経てガスの中の幻想的な森で休憩し、

最後にエゾアジサイが咲くゲレンデを下り、全員が元気でケーブル山頂駅に予定の時刻に到着。かけ流しの温泉宿の親切なもてなしを受け帰路に着く。天気が少し不

安定であったが雨にもあたらず、花盛りの、ゆっくり夏山山行に感謝です。

コースタイム

22 日　妙高高原 8:54～9:05 taxi＝笹ケ峰登山口＝9:35～50---黒沢 10:55---十二曲り下 11:15
---（途中昼食）---富士見平 13:40～14:00---高谷池ヒュッテ 15:15（泊）

23 日　ヒュッテ 6:40---天狗の庭 7:00～15---雷鳥平 8:10～20---火打山 9:10～55---
雷鳥平 10:25～10:35---高谷池ヒュッテ 11:50～13:00---黒沢池ヒュッテ 14:15 （泊）

24 日　ヒュッテ 6:00---大倉乗越 7:00～10---長介分岐 7:45---妙高山 9:45～10:05---
天狗平 12:20～13:00---妙高高原山頂駅 14:45～55 山麓駅 15:06---岡本館 15:15
（入浴）～16:50 バス＝妙高高原駅 17:05～30 ＝長野 18:12～46=東京 20:28

参加者　12 名

シロバナニガナ

ウサギギク

オオメツガザクラ

オオメツガザクラ

ウサギギク

ハクサンコザクラ

第1898回報告　　白山・御前峰（2702m）

実施日　7月30日（土）～8月1日（月）　　係：芹沢隆久　　記録：金本　勲

報　告

7/30　曇

係竹尾さんが体調不良により不参加のため、芹沢支部長がチーフリーダーを担当する。出発数日前より東北地方・新潟地方に豪雨が有り、越後湯沢経由で行く予定が北陸本線の一部が不通になり、急遽東海道本線米原経由に往復とも変更して、金沢駅近くのビジネスホテルに集合。夕食会を近くのレストランで開催する。

7/31　曇

本日は室堂センター迄標高差1,200ｍの登りの連続であるが、登山道の両側には高山植物のお花畑が広がる。ハクサンコザクラ、ハクサンフウロ、ハクサンチドリ、イブキトラノオ、ミヤマキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ヨツバシオガマ、クロユリ、コイワカガミ、ミヤマダイモンジソウ、ニッコウキスゲ、コバイケイソウ、他多くの花が咲いていて、写真を撮ったりして、急坂の登りの辛い気分を忘れさせた。コバイケイソウは花が多くつく当たり年が数年周期であるそうですが、今年がその当たり年のようで一面コバイケイソウの花が咲いていて、こんな素晴しい景色は長年登山を続けているが初めてである。

室堂センターに到着して間も無く、石川県自然観察員の案内でセンター周辺のお花畑を歩きながら高山植物の花について説明を聞いた。

8/1　曇

白山の主峰御前峰に向けてサブザックで登山開始。山頂まで標高差250ｍ、ガスで周りの山々は見えないが、相変らず周辺はお花畑である。後から大きな声がかかる、振り向くと山頂の手前、高天ヶ原よりブロッケン現象が見えた、皆さん手を振って自分が映っているのを確かめていた。ラッキー。山頂でもガスがかかっていたので、お池めぐりコースは中止して室堂センター経由で下山する。

下りも登りと同様お花の宝庫であり、特に他の山ではあまり見られないクロユリの群落を見ることが出来た。白山は深田久弥の地元で有り、当然日本百名山である、花の百名山にも選定されていて、子供から年輩者迄大勢の登山者で賑っていました。

コースタイム

7/31　金沢駅 5:30＝バス＝7:50 別当出合 7:55----8:40 中飯場 8:55----別当覗 9:35----10:40 甚之助避難小屋 11:25（昼食）---11:55-南竜道分岐----13:05 黒ボコ岩 13:15 室堂センター 15:50 到着

8/1　室堂センター 6:10----7:00 白山御前峰 7:20----8:05 室堂センター 8:40----9:07 黒ボコ岩----10:10 殿ヶ池避難小屋 10:30（昼食）----11:50 別当坂分岐 12:15 別当出合 13:40 15:30＝バス＝18:00 金沢駅（解散）

参加者　13 名

第 1907 回報告 浅間峠～生籐山（990 m）～和田峠（縦走その６）

実施日　９月 24 日（土）晴　　係・記録　和智邦久

報　告　ひさしぶりの晴天の中、上川乗から浅間峠まで登る。浅間峠から熊倉山までアップダウンが続き、熊倉山頂上からやっと展望が開き道志、丹沢方面の山々が。
三国山から生藤山へ、生藤山からの展望はなし。茅丸、連行峰、醍醐丸アップダウンの連続、和田峠に下る。今回のコースは今までにないきついコースであった。いよいよ柳沢峠から始まって大菩薩嶺から高尾山までの長い縦走コースも１回でやっと高尾山に到着だ。

コースタイム　武蔵五日市駅 8:22＝ﾊﾞｽ＝8:54 上川乗 9:00---10:32 浅間峠 10:40---11:50 上熊倉山 12:20----12:55 三国山----13:02 生藤山 13:12----13:33 茅丸----13:52 連行峰----15:00 醍醐丸 15:05----15:41 和田峠----16:30 陣馬高原下

16:40＝ﾊﾞｽ＝17:15 高尾駅

参加者　9 名

第 1910 回報告 安達太良山（1700m）～箕輪山（1728m）

実施日　10 月 9 日（日）～10 日（月）　　**係・記録・竹尾亮三**

報　告

9 日　ゴンドラ山頂駅から歩き始める。5 分後の薬師岳展望台からは雲ひとつない青空をバックに、安達太良山（別名　乳首山）に至る山肌は紅葉の真っ盛りである。山頂に近づくにつれ、山頂駅を見下ろす赤黄の紅葉の景色も素晴しい。安達太良山の名標識近くにザックを置き、鎖のある岩山の乳首を登る。乳首の上に一人ずつ立ち万歳。これから向かう、荒涼とした船明神山など 360 度の大展望。牛の背に来ると沼ノ平大噴火口が出現する。その景観は安達太良連峰のハイライトでしょう。火口壁に注意しながら船明神山に向う。山頂から分岐まで戻り、くろがね小屋に降る。山道沿い、山肌の見事な紅葉にも感動する。山荘の乳白色の温泉にゆっくりと浸かる。

10 日　山荘から鉄山の南面の紅葉を見ながら稜線に到着すると青空が広がる。馬の背の稜線を進み、鉄山へは岩の間を急登し岩塊を巻く。鉄山を少し下ると立派な避難小屋に到着。綺麗な内部でコーヒー・ブレークとする。少し降ると景観が一変し、安達太良連峰最高峰・箕輪山の優しそうな姿が紅葉一色で現れる。山頂からは前日と今日登った山々が、そして磐梯山、吾妻連峰などの展望が素晴しい。箕輪山から下る山道が笹にすっかり覆われており、笹をかき分け地面の凹凸や岩などを確認しながら慎重に下る。時折立ち止まって、山道沿いと鬼面山の鮮やかな紅葉を楽しむ。鬼面山を経て、ブナ林を通過し、野地温泉に到着。乳白色の「いい湯だな♪」に入る。紅葉と展望恵まれ、変化に富んだコースでした。

コースタイム

9 日　二本松駅 9:01～10 taxi＝ゴンドラ山麓駅＝9:35～40=山頂駅 9:50～10:00---薬師岳展望台 10:05～20---安達太良山 12:00～13:05---船明神山 13:45---55---峰ノ辻 14:45---くろがね小屋 15:30（泊）

10 日　くろがね小屋 6:25---峰ノ辻 7:20---馬ノ背 7:40～50---鉄山 8:20～25---鉄山避難小屋 8:35～9:00---箕輪山 9:55～10:25---鬼面山 13:10～15---旧土湯峠 ---野地温泉 14:05～15:30＝福島駅 16:25～17:11＝東京 18:48

参加者　10 名

薬師岳展望台より
安達太良山

7 合目付近じゃら山頂駅

8 合目からの紅葉

左・船明神岳
右・沼ノ平噴火口

馬ノ背から鉄山

第 1912 回報告　笠取山（1953m）

実施日　10 月 19 日（水）　　**係・記録・竹尾亮三**

報　告

登山口から見頃な紅葉が随所に現れる。整備された山道と小川のせせらぎが心地よい。素晴しい紅葉に感嘆している内に笠取山荘に到着。多摩川、富士川、荒川への三方向の分水嶺に登るが、霧がかかっていて笠取山の山頂は見えない。途中で昼食をすませ、色付いたカラマツの間の最後の急登を登りり笠取山に到着。 しばらくすると、ガスが消え紅葉の山肌と富士山と大菩薩嶺が現れ感激。青空が現れ、南アルプスの山々に又感激する。山頂から厳しい岩のある山道を慎重に降り、水干（多摩川の源頭地点）で一滴が落ちるのを確認して、霧が消えた分水嶺からの景色を楽しみ、笠取山荘を経て下山はヤブ沢峠経由でタクシーの待つ登山口に予定時刻に到着。展望、紅葉などを皆と楽しめた事に感謝です。

コースタイム

塩山駅 taxi 8:50＝作場平橋 9:45～55---ヤブ沢分岐 10:25～30---（一休坂経由）笠取山荘 11:35～45---分水嶺 12:00---（昼食）---笠取山 13:15～45---水干 14:15～25---笠取小屋 14:50～15:10---ヤブ沢峠 15:26---ヤブ沢分岐 15:55～16:05---作場平橋 16:40~45 taxi=塩山駅 17:40～45＝八王子＝横浜

参加者　７名

一休坂

山頂から富士山と大菩薩嶺

水千付近から富士山と 大菩薩嶺

分水嶺から南ｱﾙﾌﾟｽ

第 1916 回報告 大菩薩嶺～高尾山（和田峠～高尾山・縦走その７）

実施日　10 月 10 日（月・祝）　　**係・記録・和智邦久**

報　告

縦走の最後にふさわしい天気のなか、和田峠から出発。陣馬山から今まで歩いてきた山並みがはるか彼方に眺めることができた。影信山までは登山者も少なく静かなハイキング。城山から大垂水峠まで下りそこから高尾山の稜線まで登り返し高尾山の頂上へ。頂上は観光客？で溢れかえっていた。長い大菩薩嶺から始まって高尾山まで７回に分けて皆様のおかげで縦走することができました。

縦走してきた、山、峠

柳沢峠、六本木峠、寺尾峠、丸川峠、大菩薩嶺、大菩薩峠、石丸峠、樋ノ尾山、狩場山、大マティ山、

鶴寝山、松姫峠、奈良倉山、鶴峠　三頭山　大沢山　槇寄山　西原峠　笛吹峠　丸山　小楝峠　土俵岳　日原峠　浅間峠　熊倉山、　三国峠　生籐山　茅丸　連行峰　醍醐丸　醍醐峠　和田峠　陣馬山　奈良子峠　明王峠　底沢峠　堂所山　白沢峠　影信山　小仏峠　城山　大垂水峠　高尾山

（大菩薩峠～高尾山まで縦走　完歩　直線距離で 53.716km）

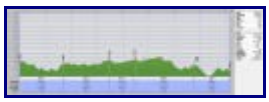
コースタイム

高尾駅＝ﾀｸｼｰ＝和田峠 8:15----8:40 陣馬山 8:59――---奈良子峠 9:32――---堂所山 10:00----11:00 影信山 11:45----12:11 小仏峠----12:36 城山----13:32 大垂水峠----14:50 高尾山 15:00----16:28 高尾山口----16:40 高尾山口駅

参加者　７名

柳沢峠～鶴峠

鶴峠～日原峠



日原峠～和田峠

和田峠～高尾山

横浜支部創立 55 周年記念集中登山　明神ヶ岳

実施日　10 月 29 日(土)～30 日(日)　　1 泊 2 日

報　告

1）登山口より明神ヶ岳まで

①コース　道了尊～見晴小屋～神明水　　リーダ＆報告　芹沢隆久

全員で最乗寺に安全登山と55周年の成功を祈願して和合下駄から登山開始12体石仏を見て、見晴小屋からは大山がはっきり、草地に出ると白い野菊と青い竜胆が花盛り、薄の銀波、名残の吾亦紅や女郎花も見られた。神明水で喉を潤し、メンバーの足並みも揃い一気に頂上へ一番乗り、4人で富士を背に記念撮影。

コースタイム　道了尊 9:30---9:40 見晴小屋 9:50---10:11 神明水 10:16---11:10 明星ヶ岳分岐 11:15
---明神ヶ岳 11:23

参加者　　4名

②コース　宮城野支所前～鞍部～明神ヶ岳　　リーダ＆報告　金本勲

9/21 の台風により登山道は下見山行では荒れていたが、集中登山当日はかなり修復されていた。
富士山も良く見えて、マツムシソウ、リンドウ、野菊の花がきれいに咲いていた。メンバーに恵まれ元気な女性達の漫談を聞きながら和気藹々で登り、疲れを忘れさせてくれた。

コースタイム　宮城野支所前 8:40---10:20 鞍部 10:30---明神ヶ岳 11:30

参加者　　5 名

③コース　宮城野橋～明星ヶ岳～明神ヶ岳　　リーダ＆報告　足立忠彦

山口より直登する事約 1 時間、大文字焼き頂部へ着く、富士山、金時山、強羅から大涌谷、箱根の山々の素晴らしい景色を堪能して明星ヶ岳へ向かう。リンドウ、野菊、など咲く中を尾根道を軽快に歩く、

途中で②コース金本グループと出会い一緒に明神ヶ岳頂上に着く。

コースタイム　宮城野橋バス停 8:20---9:55 明星ヶ岳 10:00---明神ヶ岳 11:30

参加者　　6 名

④コース　道了尊～奥の院～明神ヶ岳　　リーダ＆報告　佐藤哲夫

杉などの大木に囲まれた中を奥の院まで約400段弱の石段を登りきり 一息つく。
登山道に入って両脇の季節の花々を散見し 林道へ到着。台風で荒れた山道も片付けられおり 登り傾斜も次第に増している。眺望のきかない樹林帯が長く続き ようやく稜線へ到着する。富士山・足

鷹・箱根連山に暫し見とれて頂上へ向かった。

コースタイム 最乗寺バス停 8:25---8:40 本堂 8:45---9:05 奥の院 9:10---9:40 林道 9:45---
途中休憩 15 分---11:10 稜線 11:15---明神ヶ岳 11:30

参加者: 4 名

⑤コース 金時登山口～矢倉沢峠～火打石岳～明神ヶ岳 リーダ＆報告 井上忠秋

仙石の別荘地を抜け、急なジグザグ道が明るくなると矢倉沢峠だ。順調なスタートがきれた。ここから、小さなアップダウンを繰り返すうちに、いつか後方に金時山、富士山が見え始め我々を後押ししてくれる。足元ではリンドウやトリカブト、野菊、マツムシソウなどトリカブト、野菊、マツムシソウなどが先を急がせてくれた。更に視界が広がるにつれ、快調に歩が進み、最後の急登も難なく越え、定刻に到着した。

コースタイム 金時登山口 8:35---9:00 矢倉沢峠 9:05---10:15 火打石岳 10:25---11:30 明神ヶ岳

参加者 5 名

⑥コース 二宮金次郎芝刈り路・矢佐芝コース リーダ＆報告 小倉靖子

素晴らしい快晴の中、二宮金次郎の碑を見てから、少々傾斜のある樹林帯の中を登る。
1 本目で見晴台に着く。一転、展望が開け、丹沢の山々と相模湾の眺めでほっと一息。ふかふかで膝に優しい自然林の中に咲く花（オオヤマノボクチ、野菊、トリカブトなど）を見ながら、少し紅葉しかかった美しい林を過ぎれば、集合地点の明神ケ岳であった。

コースタイム 塚原駅 8:05＝ﾀｸｼｰ＝二宮金次郎腰かけ石---8:37 登山口 8:45——9:32 見晴台
9:45---11:10 縦走路 11：15---11:30 明神ケ岳

参加者 13名

2）下りコース 明神ヶ岳より宮城野・旅館へ下山 リーダ＆報告 金本勲

山頂でのイベントを有意義に楽しく終了し、総勢 37 名はきれいな富士山に別れを惜しみながら山頂を 13 時 15 分出発、途中日帰り登山者を宮城野支所前バス停と強羅駅にそれぞれお見送りして、予定時間より早く旅館に 16 時 10 分 到着。

3）旅館 強羅 文の郷へ直行した方 **10 名**

4）参加者 **47 名（登山者 37 名＋旅館直行者 10 名）**

登山者 37 名
宿泊者 39 名

5）明神ヶ岳山頂に於けるイベント

①応急手当の実演講習

三角巾の部位の説明・八つ折の仕方・結び方・仕舞い方、腕の肩吊り、足首の固定について 5 名の指導者により、他の大勢の登山者の居る中で先生達の堂々たる指導振りは見事でした。又受講者も熱心に勉強していました。なお参加出来なかった方々への普及と事故の無いような山行の勉強会も更に進める必要があると思います。

②ハーモニカ演奏

盛大に行われ、他の登山者からも拍手を頂きました。

③記念撮影

前面に横断幕・後部に富士山を入れて撮影。

6）旅館に於ける祝賀会でのるイベント

①全員記念撮影。芹沢支部長の挨拶で宴会スタート。
②富士山の写真展に 50 枚出展、
③引き続きビンゴゲーム・カラオケ大会が行われ、ビンゴゲームではビンゴになった方は
賞品を手にして大喜びしていた。カラオケは芸達者が多く、盛り上がっていました。

7）ボランティアの登山道清掃

登山者のマナーが良く、あまりゴミが無かったが何人かの方がゴミを拾って旅館で処分してもらった。

8）10 月 30 日朝食後解散

元気の良い人達 拾数人は山登り、その他 強羅公園等に行く人、直帰する人に分かれて旅館を出発しました。皆さんお疲れ様でした。

※横浜支部 55 周年記念集中登山の写真

第 1919 回報告　　多摩自然歩道～ありがた山

実施日　11 月 2 日（火）　　晴れ　　係・記録・谷　眞理子

報　告

11 月とは思えぬ汗ばむ陽気の中、読売ランド駅より住宅地を抜け多摩緑地保全地区に入る。

雑木林や竹林の中を行くと、小鳥たちのさえずりが賑やかに聞こえて、しばし 3 人共立ち止まり耳をとぎすます。管さくら公園から農業技術センター（旧フルーツパーク）へ行きランチとする。同センターの育てている熱帯果樹温室もあり見学をする。その後は下見時、道迷いし、やっと見つけた分かりにくい

入り口から、小沢城址への山道に入る。城址は都県境にあって休憩用のベンチもあり、緑地保全地区となっている為、自然の中での静かな雰囲気を味わえる。休憩後はありがた山へ向かう。石仏群でいっぱいの山頂には立派な仏舎利塔が3基あった。下山は来た道を戻り京王よみうりランド駅へ抜け、同駅にて解散とした。

コースタイム　読売ランド駅～管さくら公園～農業技術センター（旧フルーツパーク）～寿福寺～城址～妙覚寺～ありがた山～京王よみうりランド駅　（ウォーキングに付、コースタイム省略）

参加者　3名

第1920回報告 長者ケ岳（1336m）～天子ヶ岳（1330m）

実施日　11月5日（土）　曇り時々薄日　　**係・記録・竹尾亮三**

報　告

東海自然歩道の道標を見、ヒメシャラが目立つ整備された道を登ってゆく。

木立の間から富士山が姿をみせる。赤黄葉の木々や赤い落葉を敷いた山道を楽しみ、長者ケ岳に到着。

山頂も見頃な紅葉が出迎えてくれる。富士山は♪頭を雲の上に出し---♪。南アルプスも遠望。昼食後天子ケ岳への尾根道を下り、登り返すが、随所で赤、橙、緑の葉のコントラストが素晴しい。天子ケ岳からは急坂と長い緩斜面を下り、白糸の滝への近道に入ると、滝の全景が現れる。水量、高さ、横に並んで落ちる滝群が圧巻である。豪快な音止の滝のおまけも付き、滝を下から、上から見ながらの散策路を歩き、予定のバスに乗車。見事な紅葉と富士山、白糸の滝などを十分に楽しんだ山行でした。

コースタイム

富士宮駅 8:35＝ﾀｸｼｰ＝9:05 田貫湖登山口 9:15--広場 10:05---11:30 長者ケ岳 12:20---13:15 天子ケ岳 13:35---15:00 林道 15:10---16:00 白糸の滝 16:50--- 16:55 権現橋バス停 17:10==17:40 富士宮駅 17:55 ==沼津＝＝横浜

参加者　11名

第1923回報告　乾　徳　山（2031m）

実施日　11月12日（土）　晴れ時々曇り、朝のうち霧　　係・小澤勝太郎　記録・久保正文

報　告

塩山駅からタクシーに分乗、徳和集落から登山道に入り、紅葉したもみじや、はらはらと舞い散る落葉や唐松に癒されながら高度を上げていく。しばらく行くと視界が開け、乾徳山頂、冠雪した富士山が見える国師ガ原に着く。12時ちょうどに扇平に着き、富士山と甲府盆地を見ながら昼食をとる。

昼食後は頂上への急登に取り付く。いくつかの岩場を越え、更に頂上直下の15mの岩場を越えると待望の山頂に着く。岩の乱立する360°の絶景であったが、残念ながら雲により富士山は山頂がかすかに見える程度、南アルプスの山並みもかすんでいた。 頂上の展望を楽しんだ後は下りにかかる。登り以上に苦難の連続で、岩が露出した急坂を下っていく。 国師ケ原の分岐で15時半過ぎとなったので予定ルートを変更し、16時半ごろ大平登山口に着き、タクシーで17時過ぎに塩山駅に無事到着する。秋晴れの下すばらしい山行となり、リーダをはじめ同行者の皆様に感謝致します。

コースタイム

塩山駅＝ﾀｸｼｰ＝9:40 登山道入り口---11:25 国師ヶ原 12:00---扇平 13:50---14:05 乾徳山頂下山道 15:40 国師ヶ原---16:30 大平牧場＝ﾀｸｼｰ＝17:00 塩山駅

参加者　9名

乾徳山

第1925回報告 厚木・高取山～華厳山～経ヶ岳（相州アルプス）

実施日　11月25日（金）　晴れ　　係・記録　谷　眞理子

報　告

本厚木駅よりタクシー利用し、上荻野にある大平口登山道入口まで行く。

数軒の民家の前を通り抜け、ゴルフ場の敷地内に入る。右上の山肌に小さな地蔵の祠がポツンと置かれているのが目に入る。昔の登山道を削り、道を作るために大きくえぐられた結果である。その先の電気

柵の扉を開け中へ入ると、尾根の取り付きより急登が始まる。1 時間半程見晴らしの良い3等三角点の高取山へ着く。さらに華厳山へ向かう。広い斜面一杯にアブラチャンが株立ちし、にぎやかである。途中ゴルフ場への下山路を右へ数回見送る。ゆるい登りの後、華厳山へ着きゆっくりランチタイムとする。平坦な尾根の先より急降下となり、100m は下った後、さらに植林帯の急登となる。50 分程で経ケ岳に着き大休止後半原越に出る。林道は紅葉が見事に染まり、山登の疲れを吹き飛ばしてくれた。法論堂地区を抜け、坂尻バス停へ向かう。バス利用にて駅へ戻り解散とした。

コースタイム

本厚木駅＝ﾀｸｼ＝登山口 9:00---高取山 10:3)---11:05 華厳山 11:45---12:35 経ケ岳 13:10 ---半原越 13:40---14:58 沼尻バス停＝ﾊﾞｽ＝本厚木駅

参加者　6 名

第 1927 回報告　荒　倉　山（1132m）

実施日　11 月 20 日（日）　**晴れ**　　係・記録　鈴木国之

報　告

前日の大雨で天候が心配されたが、雲が多いながらも朝から晴れ、韮崎から市民バスに乗り穴山橋で下車。紅葉がきれいになった山麓を見ながら山に入る。ひと登りすると平川峠。峠には林道が通っている。大昔、横浜支部山行で鳳凰三山を越え青木鉱泉近くで幕営、夕飯の仕度の為、燃料の薪を拾い調理。今では考えられない体験もした事を歩きながら思い出す。木々の間からオベリスク（地蔵岳）も、甲斐駒の黒戸尾根も見える。膝に優しい最期の登りが終わると荒倉山の山頂。甲府盆地の見える一角だけが開かれていて、山頂が白い富士が綺麗な裾野を広げている姿がとびこんで来た。山・貸し切りの一日でした。

コースタイム

韮崎 10:15 ＝ﾊﾞｽ＝10:30 穴山橋 10:35---龍珠院 11:07---平川峠---11:32 途中 11:40---800m12:07 ---13:00 荒倉山 13:45---平川峠 14:20---14:45 龍珠院 14:55---15:58 穴山駅 16:05

参加者　5 名

第 1928 回報告　生籐山～熊倉山

実施日　11 月 23 日（水・祝）　**晴れ**　　係・記録　金本　勲

報　告

佐野川峠迄は急登が続いたが、歩き始めはフーフー言いながら歩いていた方も足が慣れてくると、順調に歩いて予定より早く生藤山に着いた。山頂では昼食中の方も居たが失礼して、集合写真を撮り三国山に向かう。好天に恵まれ、三国山山頂から富士山や御正体山・三ツ峠・滝子山等の山々が見られ、また所々に名残の紅葉を見ることが出来た。

本部の参加者も和気藹々で無事下山して楽しい一日でした。

コースタイム

上野原駅 8:28＝バス＝8:50 石楯尾神社前 9:00---9:57 佐野川峠 10:05---11:00 生藤山 11:05---11:15 三国山 11:55---12:40 熊倉山 12:45---13:50 浅間峠 14:05---15:30 上川乗 15:59＝バス＝武蔵五日市 16:40

参加者　本部　10 名　　支部　9 名

第 1930 回報告　　大　山（北尾根）

実施日　11 月 27 日（日）　**晴れ**　　係・井上　正　　記録・青柳征勝

報　告

ヤビツ峠までのバスは 4 台の増発で混雑。大山山頂までも家族連れなど賑やかだ。久々に雪のかぶった富士山を眺め、南アルプスも遠望でき景色を楽しむ。人込みを避け早々に山頂を後にして人気のない北尾根に入る。落ち葉の積もった雑木林の道歩きは山の優雅さが感じられる。気持ちの良いヒノキ林を下り、長い林道歩きと名水のコーヒーを飲み、ヤビツ峠に戻る。素晴らしい計画と恵まれた天気に感謝します。

コースタイム

ヤビツ峠 9:30---下社分岐 10:38---10:50 大山山頂 11:05---11:30 昼食 12:10---西沢の頭 12:23---13:05 鉄塔(一の沢峠分岐 13:15---林道 14:03---14:45 青山荘 15:10---15:40 ヤビツ峠 15:51

＝ﾊﾞｽ＝秦野駅

参加者　　12 名

第 1931 回報告 平林寺・国営　武蔵丘陵・森林公園

実施日　11 月 28 日（月）　曇り時々薄日　　係・記録　竹尾亮三

報　告

平林寺に一番乗りで入場する。有形文化財の総門、中門、仏殿、中門が一直線に並ぶ境内中心地は紅葉が見頃で素晴らしい。約 2.3km の天然記念物の境内林を進む。カエデが予想以上に多い。所々に真紅のカエデがあるが、紅葉していないカエデが多い。赤・黄・橙・緑のコントラストを再び堪能し平林寺を後にする。森林公園はインターネット事前調査の紅葉コースを進む。黄葉の自然林の中を歩き運動広場に到着。小山の形のエアートランポリンに皆で挑戦する。渓流広場を経由してカエデ園に到着。見頃の美しい紅葉が広がっている。中央口より南口に戻るかわいい園内最終バスに乗り込む。造形物に装飾したイルミネーションが点灯され綺麗。紅葉を堪能し、初体験をした楽しい山行ハイクでした。

コースタイム

志木駅 8:02＝ﾊﾞｽ＝8:25 平林寺 9:00---境内林散策路---10:45 平林寺 10:525＝バス＝11:15 志木駅 11:19＝=11:57 森林公園 12:02=バス＝滑川中学校 12:09---12:15 公園南口 10:55---13:30 運動広場 13:50---14:30 渓流広場 13:45---14:55 カエデ園 15:15---15:30 公園中央口 15:50 園内=バス＝16:20 南口 16:25＝=16:30 森林公園駅 16:43

参加者　　8 名

平林寺山門

鐘楼

平林寺境内

イチョウ

カエデ

第1935回報告　御　春　山（スケッチハイク）　（本部合同）

実施日　12月6日（火）（曇り）　　係・飯島和子・関根茂子、　記録・熊谷松治

報　告

前日の予報では山梨県東部は雨の確率50％と、実施が危ぶまれたが、係から決行との連絡があり、中央線・四方津に向かった。犬目行のバスの乗客は我々グループの貸切のようだった。大野貯水池で降りて、ダム堰堤の上を御春山に向かう。少し登った所にあるあずま屋で最初のスケッチ。

眼下に貯水池、その前方に権現山などの尾根が望まれる。

その先、やや急な登りで御春山4等三角点に着く。山頂は雑木に囲まれていて、展望はない。急な下りで南米沢（みなみなめさわ）峠、直進する道は、斧窪御前山などへの縦走路だが、私たちは右に折れて、貯水池の西岸にある園地に着く。ここで昼食を兼ねてスケッチをする。寒い一日だったが、雨にも会わずに帰りのバスを待った。横浜は雨だった。

コースタイム

四方津 8:34＝（バス）＝大野貯水池 8:45～55---展望台 9:05～（スケッチ）～50---御春山 10:25～35---南米沢峠 11:00---貯水池園地 11:30（昼食・スケッチ）～12:15---貯水池バス停 12:20～13:46＝（バス）＝四方津 13:58

参加者　15名

第1936回報告 小田原ウォーキング（いこいの森～辻村植物園）

実施日　12月19日（月）晴れ　　係・記録　谷眞理子

報　告

小田原より大雄山線に乗り、飯田岡駅に少し早めに到着する。歩き出すとすぐ急坂となり、登りつめるとまだ整備中の「諏訪の原公園」の入口に着く。見晴らし台からは丹沢の山々から箱根の山まで一望でき、スケッチに適する場所と思えた。あまりの景色の良さに3名しかいなくて残念でした。その後は龍泉寺へと向かう。緩やかな斜面に柚子の木が目立ち、太陽の光を浴びてより一層あざやかな黄金色に染まっているのが印象的でした。

いこいの森に入ると地面がアスファルトに整備されており、少しがっかりでした。

あいにく月曜日は休館日で「わんぱくランド」はガラガラ、「辻村植物園」は下見時は閉鎖していたが入れたので、一周してみたら梅の木ばかりで時期を選べば花見に好適かもと思った。車が滅多に通らないみかん畑の林道を利用し、景色を楽しみながら小田原駅へと向かい解散とした。

コースタイム

飯田岡駅～諏訪の原公園～龍泉寺～広場（ランチ）～いこいの森～わんぱくランド～辻村植物園～林道～小田原駅西口

参加者　3名

第1937回報告 八　溝　山（やみぞさん）

実施日　12月10日（土）晴れ　　係・芹沢隆久　記録・井上正

報　告

茨城県最北部（福島県堺）のため、常陸大子駅に10:45に着く。タクシー2台にて登山口へ飛ばす。スタートは下り坂、わさび田の横を抜けて登り坂へ。樹間からの青空を眺めながらのんびりと登る。落葉が足にとてもやさしい。竜毛水にて昼食。出発後20分で山頂に着く。山頂には一等三角点が立ち、展望台に上ると那須岳、谷川岳、浅間山、筑波山等が見渡せ、その後には雪を被った山々のスカイライン！展望を十分に楽しんで下山に向かう。途中日輪寺にて一休み。

元の林道駐車場へ向かう。楽しい陽だまり山行でした。

コースタイム

常陸大子＝0:50(タクシー)＝登山口駐車場-0:45-竜毛水-0:20-山頂-0:20-日輪寺-0:25-
登山口駐車場＝0:50(タクシー)=常陸大子駅

参加者　　7名

第1941回報告　　高松山～シダンゴ山

実施日　12月23日（金・祝）　曇り　　係・齋藤　郁夫　記録・小笠原利満

報　告

年末らしい静かな落ち葉の山道を、むくつけき男7人高松山へ向ってゆっくり歩を進め時折降るあられの中をシダンゴ山を越え、1時過ぎに寄のバス停についた。

今日はゆっくりと新松田で反省会をしました。 女性がおられないのは寂しいが、たまには男だけの山行と反省会もいいものでした。 今年も無事に終わり来年の山行を誓いながら美味しいお酒を頂き(私飲まず)ました。

「寒空の　師走の山を　分け入るは　七人の侍のみか」

コースタイム

山北駅7:15=タクシー=尺里峠7:35---高松山8:30---鉄塔9:45---秦野峠分岐10:30
昼飯---ダルマザワの頭11:15---シダンゴ山12:00---寄バス停13:10

参加者　　7名

第1942回報告　　上野原・要害山（ようがいさん）

実施日　　12月24日 (土) 晴れ　　係・記録　　鈴木　国之

報　告

今回歩いた上野原にある要害山は余り知られていない山域です。鏡渡橋から歩き始めます。

山歩きの原点に戻って地図を見ながら要所要所（道の分岐かピーク）にくると先頭を交代しながら歩るきました。要害山までは指導標もありますが、そこから先は無くなり赤や白・黄色のビニールテープがたよりです。尾根通しの道は比較的明瞭ですが、ピークからの尾根が判りにくい所が数カ所。コヤシロ山の手前の日当たりのあるピークで昼食。尾続山の先で道不明に

なり係だけ尾続山頂に戻り登山道を再確認。その間に正規の道が判ったのでその道を下る。

尾根の末端で左右にマーク出現。下見に来た時の右の道を下る。車道に出て新井のバス停で

バス乗車組と駅まで歩き組に別れる。山貸し切りの一日。

コースタイム

上野原 8:45 ﾀｸｼｰ＝8:45 鏡渡橋 8:55---10:05 要害山 10:30---12:05 コヤシロ山---13:30 車道---
14:15 新井バス停

参加者　　13 名

第 1943 回報告　　真鶴ウォーキング

実施日　　1 月 6 日　(金)　曇後晴　　係・記録　　谷　眞理子

報　告

朝の内は分厚い雲が空を覆っていたが、根府川駅到着頃には青空を予感させる気持ちの良い微風

が頬を撫でていく。歩き出せば青空も顔を出し、太陽の光が海上や山々を照らしだす。景色が展開し始

めると皆が笑顔になってしまった。初春のウォーキングに相応しいスタートである。「豆相人車鉄道」が通

っていた国道135号線をひたすら歩くとバスの終点石名坂へ着く。そこより国道を離れ岩海岸へと目指す。

途中みかん畑の一角でランチタイムとする。ここは長い歴史のある土地で史跡が結構多いのに気付く。

岩海岸で大休止後真鶴駅へと向かい「豆相人車鉄道」城口駅前（真鶴駅）にて解散しました。

コースタイム

根府川駅 10:00－－白糸橋－－天正庵跡－－江ノ浦－－八貫山－－赤沢～岩－－
学校前－－真鶴町役場－－真鶴駅 15:00

参加者　　8 名

第 1949 回報告　　三浦アルプス

実施日　　1 月 29 日　(日)　晴れ　　係・記録　　谷　眞理子

報　告

極寒の中、10名が按針塚駅に集い、徒歩にて十三峠へ向かう。見慣れた山道を逆コースにて、畠山分岐より大沢谷へと坂道を下る。入口よりあまり人が入らない為か荒れている細道を行く。転がる石は丸みを帯びており、長い年月を物語っていた。今が水量の一番少ない適した時期なのでこのコースを選んだ。ゆっくり歩き、間道をみつけては水の中を抜けてはい上がる。

繰り返すこと1時間半ぐらいで右手に現れたスチール階段を登り詰め、鉄塔３２号へポンと出る。風が吹きつけ寒すぎるので少し下り、ランチタイムとしたが皆早めに済ませた。午後は南尾根へ出て乳頭山へ向かう。計画通りのつもりが時間とうまく合わず、中尾根を縦走し林道奥へ出る。大休止後、林道より長柄に向かう。数年ぶりでゲートが開いた為大助かりだった。その後は徒歩にて逗子駅に出て、解散としました。

コースタイム

按針塚 8:40---十三峠 9:10---大沢谷入口 10:30---スチール階段 12:00---尾根 12:10～12:40
---乳頭山 13:47---中尾根 13:50---林道奥 15:00---ゲート 15:54---長柄 16:10---逗子駅 16:50

参加者　10 名

第1950回報告　高宕山（330m）～石射太郎

実施日　1月28日 (土) 晴れ　　係・記録　竹尾　亮三

報　告

田んぼ脇の登山口の標識から畦道に入る。宇津木分岐を過ぎると見晴がよくこれから登る高宕山や高宕観音の赤い屋根が見える。白い崖のテラスを超えると左が切れていて慎重に歩く。稜線上のお茶立場分岐を経て、何とか昼食をとる場所を見つける。山道を見失うハプニングも無事解決。左右をよく見て歩く大切さを痛感。ロープや梯子を使い山頂に到着。展望は360度で房総の中央に位置する山深さを感じる。石射太郎への分岐まで戻り、少し下ると観音堂が岩に囲まれて建つ。岩のトンネルでお堂を一周する。スイセンが咲いている好展望地の石射太郎

で休憩し、予定時刻にタクシーの待つ地点に到着。変化に富んだ房総の縦走山行でした。

お猿さんは寒くて顔を出してくれませんでした。

コースタイム

金谷港 805---浜金谷 8:15/8:31＝上総湊 8:41/taxi 8:50=野鳥の森駐車場 9:15～20---登山口 9:25---白い崖のテラス 11:05---場分岐 11:45---(途中昼食)---12:55 --高宕山 13:45～14:05 ---高宕観音---石射太郎 15:10～20 ---高宕第1トンネル 15:35～40 taxi=上総湊駅 16:10～22＝浜金谷 16:32---金谷港 16:40~17:20＝久里浜港

参加者　　１４名

高宕山の左赤い屋根観音堂

石射太郎のスイセン

第 1951 回報告　　めんようの里ウォーキング

実施日　　2 月 14 日　(金)　曇･雨　　係・記録　　谷　眞理子

報　告

秦野駅より山道は使用せず、一般道と林道を使い、めんようの里を目指す。途中S氏の道案内にて弘法の清水へ行き、みんな喉を潤す。美味しかった。馴染みの登山道口を右に見送り、さらに車の往来の激しい道路をしばらく歩き、衛生センター交差点を右に入る。段々と景色が展開してくる林道では丹沢の山々が雲間に見え隠れし、雨が近づいているのを感じさせる雲の低さが目につく。やがて「もくり館」へ到着しお待ちかねのジンギスカン鍋やラム肉のしゃぶしゃぶのテーブルに分かれ、舌鼓を打つ。

おなか一杯の頃、雨がシャワーのように地面を打つように降り出す。しばし談笑しているうちに雨が一瞬やみ、秦野駅に戻るグループと山道を利用し下山後バスにて東海大学駅に出ることにしたグループに分かれた為、「もくり館」にて解散とした。

コースタイム

駅～衛生センター～もくり館（ウォーキングにつきコースタイム省略）

参加者　　7 名

第1952回報告　　武山・三浦富士

実施日　　2月21日 (火) 晴れ　　係・記録　　谷　眞理子

報　告

一騎塚バス停より歩き出すと、坂道がきつくなる一方かと思えばゆるくなったりで道に騙されながら武山頂上に着く。武山を後に東に向い、砲台山の見晴らしの良い場所でランチにした。ここにはコンクリートで固められた巨大なすり鉢があり、底には砲台跡があるが大きすぎて目を見張る程である。

再び分岐に戻り三浦富士を目指す。この先はしばらく車道となるがまず車などは通らない。戦争時、山頂の砲台に弾薬、その他の物資を運ぶための軍用道路であったらしい。尾根道に入るとまもなく三浦富士の山頂に出る。古くからの信仰の山だけあって、登頂碑が乱立しており富士山マークもみつけた。

その後は低木の道をひたすら下って警察犬訓練施設に出たが、犬より鶏の鳴き声が朝と間違えているようで賑やかだった。右側の道を畑の中を下り続けると、お待ちかねのイチゴ狩り園に到着し、

ビニールハウスを４名で貸切状態でした。

大から小のイチゴまで手当り次第で胃袋に詰めこんでいくが「どーにも止まらない！」30 分程で終了し、

お腹いっぱい、野菜いっぱいのお土産で足取りも軽く（？）京急津久井浜駅に出て解散としました。

コースタイム

駅＝バス30分＝一騎塚バス停 10:10---武山 11:00---砲台山 11:30～12:15---三浦富士 12:40～13:00---農道 13:30～14:30---津久井浜駅 15:00）

参加者　　**4 名**

第 1954 回報告　ハンターマウンテン塩原・スキー場

実施日　2 月 16 日 (木)～18 日（土） 16,17 日 快晴 18 日 曇　係・記録　竹尾 亮三

報 告

16 日：おおるりのスキーパックが復活し、無料バスでゲレンデに着く。青空一杯の中、日光白根山、会津駒ケ岳などの冬山が美しい。ゲレンデは雪質もよく、良く整備され、広く、人も少なく、申し分のない状態である。少し急な斜面と緩斜面、曲がりも適当に有り、3㎞のコースをスキー組は途中の休憩も取らないで快調に滑る。夕食はプラス 200 円でビール、お酒などが飲み放題。温泉組は部屋でマージャンを楽しんでいました。

17 日：山々の展望を楽しみながら午前 1 回、午後 1 回の休憩を挟んで時間一杯、雪煙をあげ快調に滑る。－9℃～－6℃で雪質がよい分、長いリフトは寒く、ゴンドラを多く利用する。全員が3㎞をノンストップで滑る。壮快である。中腹と山麓のレストハウスでの休憩、昼食もゆったりと過ごせる。温泉組は湯煙会館で無料のお芝居を見て、大笑いして楽しめたとの事。夕食後はカラオケボックスで2時間、全員が歌を楽しみました。

17 日：

温泉組は前日、温泉街の散策を済ませていたのでマージャンを楽しみ、スキー組は温泉街の周遊に出かける。迎えのバスに乗込み、途中、田吾作に立寄り昼食。おそばを食べ、

地元の食材などを購入し、予定時刻に横浜駅に到着。3 日間を激安で十分に楽しめた温泉・スキー山行でした。草津よりもスキー場としては参加者の評価が高く、来年も元気であれば再び企画します。

コースタイム　16 日: 横浜駅 8:10 バス＝塩原温泉・ホテルニュー八汐 11:35～13:00
バス＝ハンターマウンテンスキー場 13:20～1600 バス＝ホテル 16:20
17 日: ホテル 8:00=スキー場 8:20～16:00 バス＝ホテル 16:20
18 日 : 朝食後、温泉街散策など、ホテル 11:40 バス＝田吾作で昼食＝横浜 16:30

参加者　9 名

第 1955 回報告　葉山ウォーキング

実施日　3 月 7 日 (木)　係・記録　谷　眞理子

報　告

不動橋より歩き出すと、梅の花があちらこちらで咲き出しており、例年より開花が遅れているようでした。不動の滝にて小休止し、その後は棚田に向かい、見事な段々状に見とれ再び予定のコースに戻り、まみあな休憩所で馬とふれあった後は、湘南国際村にあるレストランへ行きランチとする。お腹いっぱいになった後は、子安の地域を歩き、途中畑仕事の老夫婦よりホーレン草を譲ってもらい、皆ホクホク顔で、久留和海岸バス停へと抜け、バス利用にて逗子駅へ行き、駅にて解散としました。

コースタイム

衣笠駅＝バス＝不動橋---不動の滝 10:10--- 棚田---杉山神社 11:10---まみあな休憩所
---湘南国際村 12:30～14:35---子安---久留和バス停＝バス＝逗子駅 16:30

参加者　4 名

第 1957 回報告　巣　雲　山

実施日　3 月 22 日 (木) 晴れ　係・記録　谷　眞理子

報　告

楽々登山をと計画し、タクシーを利用して峰登山口より林道歩きをし、山道へと入る。

1時間ほどで頂上へ出る。早目に着いたのでゆっくりとランチとする。景色の良さは抜群で、男性二人は「山座同定」を楽しんでいた。午後は大丸山に出て網代や宇佐美の街並みを眺めて下山したが、途中で地元の方々と出会い「みかん」をいただく。

リュックは重く足取りは軽く、町の中へ出て、宇佐美の駅に辿りつき、ホッとしたところで解散とした。

コースタイム

宇佐美駅＝ﾀｸｼｰ＝峰登山口 9:40---生仏の墓 10:30--- 巣雲山頂上 10:45～12:00---
大丸山 12:50---宇佐美駅 14:40

参加者　　3 名

第 1959 回報告　　街道を歩く（日光街道その１）

実施日　　3 月 24 日 (土) 小雨　　係・芹沢　隆久　　記録・和智　邦久

報　告

街道歩き第2弾、小雨の中日本橋から日光街道歩き始まる。

日光を目指して元気に日本橋を出発する。伝馬町牢屋敷跡（吉田松陰はここで斬首された）から横山町問屋街を見ながら国道6号線に合流し浅草橋・駒形橋・雷門へ。浅草寺でこれからの街道歩きの安全を祈願する。待乳山聖天（まつちやま）（本尊の歓喜天は商売繁盛、夫婦和合の利益がある）・泪橋（小塚原の刑場に護送される罪人が身内との別れに涙した）を過ぎ、小塚原刑場跡・回向院（安政の大獄で処刑された橋本左内、吉田松陰、桜田門坂下門事件に連座した浪士、二・二六事件の青年将校磯部浅一等の墓がある）に立ち寄る。隅田川に架かる千住大橋を渡り、やっちゃ場通り（往時野菜や鮮魚のヤッチャヤッチャのせり声が響いた通り）、日本橋より二里目の一里塚跡へ到着。最初の宿場千住に入り千住宿本陣跡へ到着した。雨もやみ青空が見えてきた。歩く距離は短かったが見る所が多かった。今回は日光まで歩く距離は約 190km と短い。

最後まで歩けるか。北千住駅で解散する。（日本橋から千住宿まで 8.8km）

コースタイム

日本橋 9:30---9:50 日光街道道標ー--9:50 伝馬町牢屋敷跡ー--待乳山聖天---泪橋---

13:25 小塚原刑場跡---回向院---すさの神社---やっちゃ場通り---一里塚跡---15:07
千住宿本陣跡----15:20 横山住宅----北千住駅

参加者　　8 名

第 1962 回報告　　丹沢長大縦走シリーズ

実施日　　3 月 26 日 (月)~27 日 (火)　　係・齋藤　郁夫　　記録・渡部　道明

報　告

26 日　渋沢駅からの丹沢山塊はくっきりと青空にそそり立ち期待を抱かせた。大倉バス停で横浜支部旗をカメラに収め歩きだす。表題の長大縦走シリーズの第一歩のスタートでした。歩きだしてすぐに寒さで遅れていた白梅が満開で出迎え、見送られたのは誠に嬉しいことでした。見晴茶屋を過ぎ木道が延々と続く大倉尾根、木々は未だ芽吹きの気配すら感じられ無い中をただ黙々と足を運ぶ、登るにつれ風が冷たく、薄雲が広がり寒冷前線の通過中なのか雪がちらつきだしたが遠望はある。花立山荘が休みで寒い外での食事となったが塔ノ岳　尊仏山荘で美味いコーヒーを戴く間に富士が姿を現しだした。シーズン外れの月曜日にもかかわらずかなりの登山客を見受けられたが、鍋割山荘迄の雪解けの神経をつかう、ぬかるむ山道ではちらりほらりであった。ブナの大木が多く春からの美しさを予想させる中3頭の親子鹿も見られ鍋割山荘無事到着、その夕景の美しさは幽玄とでも云うのか至福の一時を過ごしたものでした。

27 日　快晴の山行日よりで気分高揚 「茅ノ木棚沢ノ頭」前後の鎖場や多少のガレ場などの難所を快調に通過。常に富士山を前に右手側に蛭ガ岳，檜洞丸、同角ノ頭、,蛭ケ丸、更に御正体山、遠くに真っ白な南アルプス、八ヶ岳、奥秩父？などを木々の間からのぞき見ながら唯一人として会えなかった「やまみち」トレッキングを楽しみました。秦野峠に 12:50 着。日影山・湯本平分岐～山市場までは時間を考え「寄」へと向かう。林道秦野峠～寄バス停へ無事到着。長大計画の第一歩を踏み出すことが出来ました。

コースタイム

26 日　大倉バス停 9:15---雑事場 10:05---駒止小屋 11:10---12:45 花立山荘 13:10---13:55 尊仏山荘 14:45---金冷し 15:00---大丸 15:20---小丸 15:50---16:10 鍋割山荘

27 日　鍋割山荘 7:15---鍋割峠 7:45---茅ノ木棚沢ノ頭 8:10---雨山 10:00---檜岳 10:25---11:15 伊勢沢ノ頭 11:50---秦野峠 12:50---13:20 林道秦野峠 14::00---15:55 寄バス停

参加者　　2 名

第 1958 回報告　　大山（1252m）～不動尻～広沢寺温泉

実施日　　3 月 29 日　(木)　快晴　　係・記録　竹尾亮三

報　告

大山に近づくにつれ青空をバックに真白い富士山の姿が大きくなり、丹沢の山々の展望も素晴らしい。

大山山頂近くにヘリコプターが荷物を下げて頻繁に往復している。大山直下の登山道では残雪や氷の上を慎重に降る。唐沢峠を過ぎ、知られざるミツマタ群生地に入ると道は昨年と一変していた。昨年の台風か、

嵐で大きな杉が倒れ道を塞いでいる。慎重に迂回するとミツマタが姿を現す。丁度見頃で、上から、下からミツマタ群を楽しみながら不動尻に到着。バス停までは里の白梅、紅梅などを鑑賞しながら予定時刻にバス停に到着する。久々にお天気に恵まれた春の山行でした。

コースタイム

ヤビツ峠 9:00---大山 10:50---唐沢峠 12:45---ミツマタ群生地 13:25---不動尻 14:00---広沢寺温泉入口バス停 15:40 着

参加者　　8 名